

本市場もといちばのかさ守もりいぼり稻荷さん

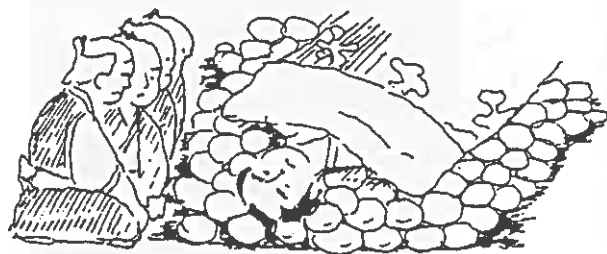
昭和六十一年三月五日号

本市場もといちばの法源寺はつげんじの東側に、「かさ守稻荷さん」と呼ばれる神社があります。皮膚病ひふびょうやいぼができて困っている人がお祈りし、白い石を借りて病気の部分をなでると治るといわれます。今でも白い石は借りることができ、借りた人は倍ばいにしてお返ししています。

熱を吸い取る白い石

今から二百年ほど前のことでした。一人の旅の武士が米之宮浅間神社で大変な熱とはれものの痛みに倒れていました。

近所の人たちは手厚く看護かんごしましたが、病気は重くなるばかりでした。



ある日、武士は村人に「私は数カ月前からこの病気にとりつかれ、江戸のかさ守稻荷におすがりしたいと念じて西国からここまでやって来た。昨夜、夢の中に女神が現れて、『かさ守稻荷に一心に祈り、白い石を敷きつめた上で寝起きすれば熱は石が吸い取って全快するであろう』とお告げがあつた」と言いました。

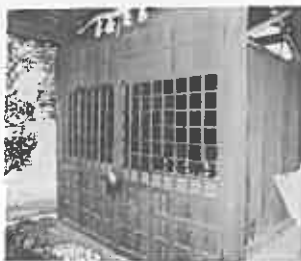
村の人々は早速たくさんの白い石を拾い集め、武士を寝かせました。すると病いは一日とよくなり、武士は数日後、江戸へ旅立ちました。

何日か後、江戸のかさ守稻荷からご神体をわけてもらい、立ち寄った武士は、村人にほこらを建てて祭つてくれるように言い残して西国へ帰っていきました。

おかげで長生き

高田茂さん（本市場）

近くに住む高田茂さんは「悪いところへかさ守稻荷さんの白い石をあてると治ると聞いているよ。ワシも小さいころよくお世話になつたもんだ。おかげで長生きしているよ。」と語つてくれました。



今でも白い石を借りる人がいます